

PRESS INFORMATION2012年4月15日
株式会社日本レースプロモーション**2012年全日本選手権フォーミュラ・ニッポン**
第1戦鈴鹿ラウンド決勝結果速報
中嶋一貴 (ペトロナス・チーム・トムス) 優勝!

2012年全日本選手権フォーミュラ・ニッポン第1戦鈴鹿ラウンド決勝レースが、4月15日(日)快晴の三重県鈴鹿サーキット国際公認レーシングコース(1周 5.807km)を43周、合計249.701kmで争われ、予選3番手のポジションからスタートした中嶋一貴(ペトロナス・チーム・トムス)が1時間15分02秒966、平均速度199.63km/hで走り切り、開幕戦優勝を飾った。2番手には塚越広大(ドコモ チーム ダンディライアン レーシング)が1時間15分06秒962で続き、3番手はジョアオ・パオロ・デ・オリベイラ(チーム インパル)1時間15分15秒376だった。(天候:晴れ、気温:15.5℃、コース状態:ドライ、観客数28,000人)
*記録の詳細は、添付の「公式決勝結果表」ご参照ください。



#2 中嶋 一貴 (ペトロナス・チーム・トムス)

Series Partner

HONDA TOYOTA

Series Supporter

BRIDGESTONE

Promotion Partner

 **NINKI-ICHI**
人気酒造

2012年全日本選手権フォーミュラ・ニッポン第1戦 鈴鹿エントリーリスト

(シャーシ：FN09、タイヤ：ブリヂストン)

No.	ドライバー	年齢 出身	チーム 監督	エンジン
1	アンドレ・ロッテラー Andre Lotterer	30 ドイツ	PETRONAS TEAM TOM'S ペトロナス・チーム・トムス 舘 信秀	TOYOTA RV8K
2	中嶋 一貴 Kazuki Nakajima	27 日本 愛知県		
3	☆ 安田 裕信 Hironobu Yasuda	28 日本 滋賀県	KONDO RACING コンドー レーシング 近藤 真彦	TOYOTA RV8K
7	大嶋 和也 Kazuya Oshima	24 日本 群馬県	Team LeMans チーム ルマン 武藤 裕作	TOYOTA RV8K
8	ロイク・デュバル Loic Duval	29 フランス	Team KYGNUS SUNOCO チーム キグナス スノコ 土屋 武士	TOYOTA RV8K
10	金石 年弘 Toshihiro Kaneishi	33 日本 大阪府	HP REAL RACING エイチピー リアル レーシング 金石 勝智	HONDA HR12E
16	山本 尚貴 Naoki Yamamoto	23 日本 栃木県	TEAM 無限 チーム 無限 手塚 長孝	HONDA HR12E
18	折目 遼 Ryo Orime	29 日本 京都府	SGC by KCMG エスジーシー バイ ケーシーエムジー 土居 隆二	TOYOTA RV8K
19	ジョアオ・パオ・デ・オリベイラ Joao Paulo de Oliveira	30 ブラジル	TEAM IMPUL チーム インパル 星野 一義	TOYOTA RV8K
20	松田 次生 Tsugio Matsuda	32 日本 三重県		
31	中嶋 大祐 Daisuke Nakajima	23 日本 愛知県	NAKAJIMA RACING ナカジマ レーシング 中嶋 悟	HONDA HR12E
32	小暮 卓史 Takashi Kogure	31 日本 群馬県		
38	平手 晃平 Kohei Hirate	26 日本 愛知県	Project μ/cerumo・INGING プロジェクト・ミュール/セルモ・インギング 立川 祐路	TOYOTA RV8K
39	国本 雄資 Yuji Kunimoto	21 日本 神奈川県		
40	伊沢 拓也 Takuya Izawa	27 日本 東京都	DOCOMO TEAM DANDELIONRACING ドコモ チーム ダンデライオン レーシング 村岡 潔	HONDA HR12E
41	塚越 広大 Koudai Tsukakoshi	25 日本 栃木県		
62	嵯峨 宏紀 Koki Saga	28 日本 愛知県	TOCHIGI Le Beausset Motorsports トチギ ル・ボッセ モータースポーツ 坪松 唯夫	TOYOTA RV8K

☆印は2012ルーキードライバーを示します。

Series Partner

HONDA **TOYOTA**

Series Supporter

BRIDGESTONE

Promotion Partner

人 NINKI-ICHI
人気酒造

2012年シリーズ選手権 ポイントシステム

■選手権ポイントシステム

順位	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位以下	PP
大会1レース	10	8	6	5	4	3	2	1	0	1
大会2レース	5+3	4	3	2.5	2	1.5	1	0.5	0	1

※2レース制に限り第1レース、第2レースの勝者に通常ポイントとは別に3ポイントが与えられる。

【ご参考】

1. フォーミュラ・ニッポン

全日本選手権フォーミュラ・ニッポンは、日本自動車連盟（JAF）が公認し、日本レースプロモーションのプロモートにより1996年にスタート。純然たるレーシングマシンであるオープン・シングルシーターのフォーミュラカーによって競われる国内最高峰の自動車レースで、全国5か所のサーキットを転戦。本年は全7戦+特別戦1戦を開催する。

2. シリーズ賞典

シリーズドライバーズチャンピオンには、日本レースプロモーションより賞金と、シリーズドライバーズチャンピオンカップが授与されるほか、自由民主党モータースポーツ振興議員連盟より同連盟杯が、さらに本年より観光庁長官杯が贈られる。またシリーズチャンピオン・チームには経済産業省より経済産業大臣杯が贈られる。

3. レース車両

シャシーは米国スィフト・エンジニアリング社製のFN09。エンジンはトヨタとホンダが供給する、排気量3,400cc、V型8気筒自然吸気エンジン、TOYOTA RV8KまたはHONDA HR12Eを使用する。タイヤはすべてブリヂストン製のワンメイク。

4. オーバーテイクシステム

ステアリングにあるボタンを押すと、20秒間エンジン回転数がアップし加速力が加わる。このシステムは決勝レース中5回まで使用することが可能で、追い越しなどを容易にする。使用中はドライバーのヘルメットの後方にあるランプが点滅し、観客からも視認できる。またポイントリーダードライバーは、赤色のオーバーテイクランプ（リーダーズレッド）を装着している。これはフォーミュラ・ニッポン独特の仕組み。

5. ノックアウト予選*

公式予選は決勝レースのスタート位置を決定するためにQ1、2、3の、計3回の予選が行われる。本大会のように17台エントリーの場合にはQ1（20分間）で14位から17位のスタート位置を決定。10分間のインターバルの後、Q2（7分間）を行い9～13位のスタート位置を決定する。さらに10分間のインターバルの後Q3を行い、1～8位までの決勝レーススタート位置を決定する。文字通りの好タイムが出なければノックアウト（脱落）されることから、ノックアウト方式（勝ち抜き戦）と呼ばれる。

2012年全日本選手権フォーミュラ・ニッポン 開催スケジュール

日程	ラウンド	開催サーキット
4/14～15	第1戦 鈴鹿サーキット	鈴鹿サーキット
5/12～13	第2戦 ツインリンクもてぎ	ツインリンクもてぎ
5/26～27	第3戦 オートポリス	オートポリス
7/14～15	第4戦 富士スピードウェイ	富士スピードウェイ
8/4～5	第5戦 ツインリンクもてぎ	ツインリンクもてぎ
9/22～23	第6戦 スポーツランドSUGO	スポーツランドSUGO
11/3～4	第7戦 鈴鹿サーキット	鈴鹿サーキット

Series Partner




Series Supporter



Promotion Partner



開催概要

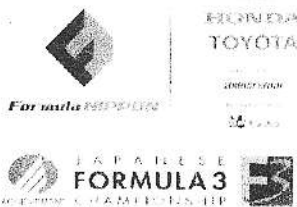
- 大会名称：鈴鹿2&4レース
- レース：2012年 全日本選手権フォーミュラ・ニッポン 第1戦 鈴鹿サーキット
2012 MFJ全日本ロードレース選手権シリーズ 第2戦
- 同日開催：Enjoy Honda SUZUKA 2012
2012年 アチーブメント全日本フォーミュラ3選手権 第1戦&第2戦
Honda Sports & Eco Program CR-Z 10リッターチャレンジ
- 開催日：2012年4月14日(土)～15日(日)
予選スタート4/14(土) 14:00～
決勝スタート4/15(日) 14:30～
- 開催地：鈴鹿サーキット(三重県)
(決勝レース距離：5.807km/1周 x 43周 = 249.701km)
- 主催：グループ・オブ・スピードスポーツ(GSS) / 鈴鹿モータースポーツクラブ(SMSC)
財団法人日本モーターサイクルスポーツ協会(MFJ) / 株式会社モビリティランド
- 公認：国際自動車連盟(FIA) / 社団法人日本自動車連盟(JAF)
国際モーターサイクリズム連盟(FIM) / 日本モーターサイクルスポーツ協会(MFJ)
- 認定：株式会社日本レースプロモーション(JRP) / 日本フォーミュラスリー協会(JF3A)
- 後援：文部科学省 / 観光庁 / 三重県 / 鈴鹿市 / 鈴鹿F1日本グランプリ地域活性化協議会
社団法人鈴鹿市観光協会 / 鈴鹿商工会議所 / 東京中日スポーツ / 中日スポーツ / 中日新聞社

【TV放映予定】

- ・「BSフジ」：4月22日(日) 18時00分～18時55分
再放送4/28(土) 13時00分～13時55分
- ・「J SPORTS」：ライブ中継

*放送日、時間は予告なく変更される場合がありますので、
FN公式ホームページ (<http://www.f-nippon.co.jp>) でご確認ください。

*この件に関するお問い合わせは下記担当までお願いいたします。
担当：遠藤清人 (MP: 090-3401-8112) (e-mail: media@f-nippon.co.jp)
株式会社日本レースプロモーション (<http://www.f-nippon.co.jp/>)
102-0074 東京都千代田区九段南2-3-25 平安堂ビル
Tel: 03-3237-0131 Fax: 03-3237-0135



SUZUKA 2&4 RACE



4.14 Qualify sat 15 Race sun

SUZUKA 2&4 RACE
2012年 全日本選手権フォーミュラ・ニッポン第1戦 鈴鹿サーキット

No. 20

2012-04-15 17:03
WEATHER: Fine
COURSE: Dry

国際レーシングコース 5.807km

Formula NIPPON

決勝正式結果表

Pos.	No.	Driver	Type	Team	Laps	Total Time	Delay	Gap	Best
1	2	中嶋 一貴	TOYOTA RV8K	PETRONAS TEAM TOM'S	43	1:15'02.966	199.63km/h		1'42.898
2	41	塚越 広大	HONDA HR12E	DOCOMO TEAM DANDELION RACING	43	1:15'06.962	3.996	3.996	1'42.920
3	19	ジョアオ・パオロ・デ・オリベイラ	TOYOTA RV8K	TEAM IMPUL	43	1:15'15.376	12.410	8.414	1'42.781
4	7	大嶋 和也	TOYOTA RV8K	Team LeMans	43	1:15'23.193	20.227	7.817	1'43.209
5	1	アントレ・ロッター	TOYOTA RV8K	PETRONAS TEAM TOM'S	43	1:15'23.749	20.783	0.556	1'43.028
6	40	伊沢 拓也	HONDA HR12E	DOCOMO TEAM DANDELION RACING	43	1:15'38.128	35.162	14.379	1'43.767
7	16	山本 尚貴	HONDA HR12E	TEAM 無限	43	1:15'39.276	36.310	1.148	1'43.478
8	20	松田 次生	TOYOTA RV8K	TEAM IMPUL	43	1:15'43.627	40.661	4.351	1'43.525
9	8	ロイク・デュバル	TOYOTA RV8K	Team KYGNUS SUNOCO	43	1:15'44.456	41.490	0.829	1'43.772
10	38	平手 晃平	TOYOTA RV8K	Project μ/cerumo-INGING	43	1:16'10.914	1'07.948	26.458	1'43.783
11	3	安田 裕信	TOYOTA RV8K	KONDO RACING	43	1:16'19.966	1'17.000	9.052	1'44.350
12	10	金石 年弘	HONDA HR12E	HP REAL RACING	43	1:16'20.770	1'17.804	0.804	1'44.304
13	62	嵯峨 宏紀	TOYOTA RV8K	TOCHIGI Le Beausset Motorsports	43	1:16'26.976	1'24.010	6.208	1'44.362
14	39	国本 雄資	TOYOTA RV8K	Project μ/cerumo-INGING	43	1:16'32.486	1'29.520	5.510	1'42.852
15	32	小暮 卓史	HONDA HR12E	NAKAJIMA RACING	42	1:15'18.101	1Lap	1Lap	1'43.483
16	31	中嶋 大祐	HONDA HR12E	NAKAJIMA RACING	42	1:15'52.451	1Lap	34.350	1'43.581
17	18	折目 遼	TOYOTA RV8K	SGC by KCMG	41	1:16'07.094	2Laps	1Lap	1'46.126

以上 規定周回数完走:

開始時刻: 14:34'09
終了時刻: 15:49'11

レース中のベストタイムは No. 19 ジョアオ・パオロ・デ・オリベイラ TEAM IMPUL 1'42.781 38/43 203.40km/h

規定周回数 38

ペナルティ
No. 18, No. 31
ドライビング・スループ・ペナルティを課した。(2012年全日本選手権フォーミュラ・ニッポン統一規則 第32条(ピット作業)違反による)

No. 32
ドライビング・スループ・ペナルティを課した。(2012年全日本選手権フォーミュラ・ニッポン統一規則 第31条2.(ピットインおよびピットアウト)違反による)

計時委員長: Takashi KURIYAMA

競技長: Hiroshi MATSUMOTO

審査委員長: Kazunari YAMANASHI

栗山隆史

松本洋

山梨一成